

「英語はリズムつかんで」

ラジオ英会話講師 大西さん講演

市民、教師らにコツ伝授

NHKラジオ第2放送の番組「ラジオ英会話」の講師を務めている大西泰斗(ひろと)さん(57)が12日、秩父市熊木町の秩父宮記念市民会館2階けやきフォーラムで講演した。市民や市内の小中学校教員など約160人が参加し、大西さんは「英語を話す時には英語の考え方で、リズムをつかんでほしい」と語った。

(桜井和憲)

【秩父】

大西さんは筑波大学大学院文芸言語研究科博士課程

修了。オックスフォード大学言語学研究所客員研究員を経て、現在は東洋学園大学学グローバル・コミュニケーション



ユーモアも交えながら熱弁を振るった大西泰斗さん
—12日午後、秩父市熊木町の秩父宮記念市民会館

「シヨ」学部で教授を務めるほか、「一億人の英文法」など多数の著書を持つ。久喜邦康市長がラジオ英会話を聞いていることから、今回の講演会が実現した。

大西さんは「話せる英語をどう学ぶべきなのか」を演題に講演。英語の学習で一般的に行われている英単語の暗記や英語の読解問題は、英語を話すこととは別次元の問題で、英語を話せないのは当然だと説明した。「英単語は一つの日本語訳だけでなく、英単語の一つ一つにあるイメージを知ることが大切」と語った。

日本語と英語は語順が反対で、英語は説明が後ろにくることを強調。日本語ですぐに会話が出来るのは膨大な例文を頭の中に持っているからで、英語もたくさん例文を丸ごと覚える必要性を説いた。「ラジオ英会話だけで終わりはなく、そこから始まり。自分の努力でデータを蓄積させてほしい」と話していた。